

## お元気ですか.....

### 異端児

心臓パートIV

南淵 明宏 42

映画「インターステラー」を見ました。

「マーフィーの法則って結局のところ『起こりえることは現実にかかる』と言っているんだ」

「科学で説明できない二人が引き合う愛の力こそ、未来人が与えてくれた正解にたどり着くヒントじゃないの」

などなど刮目すべき名言が満載の映画でした。

この映画は宇宙オタクで

ないと楽しめないのかな？ といういわゆるハードSFですが、一番感心したのは十歳の娘が父親に反論する場面です。「科学とは、理解できないものを認めることでしょ！」

ちまたには「科学で証明

## すべてを説明できない

### 科学の限界

できないならインチキだ」

「オカルトだ」

こんな妄言で人々の夢や気持ちちを打ち砕く人がいます。科学原理主義者です。

「説明がつかないぞ！ なぜだろう？」は未知の世界に

科学者を誘う芳香です。だから本当の科学者に科学原理主義者はいません。世界はすべて科学で説明できる、と考える科学原理主義ほど非科学的なものはないのです。この世には科学が解明できない疑問がヤマほど

他にもヤマほどあります。生命は本当に原初の地球環境で偶然に生まれたものなのでしょうか？

われわれの意識とは何なのか？ 宇宙の外側には何があるのか？ 野口英世が最後に残した言葉は「私にはわからない」。

われわれは皆、さまざまな疑問をかかえ生涯を終えていくのです。



プロフィール なぶち・あきひろ

奈良県立医科大学卒。シドニー・セント・ビンセント病院、国立シンガポール大学病院などを経て、2010年12月から品川区の大崎病院東京ハートセンターのセンター長。医学博士。